



株式会社 ジャパンファーム

会社概要 2012年10月現在

設立	昭和44年7月	事業概要	年間3850万羽のチキン生産・加工販売 186千頭の豚の一貫生産
資本金	30億円	主要製品	チキン製品・肉豚
従業員数	1,146人	連絡先	TEL.099-476-0235 FAX.099-476-3172 http://www.japanfarm.co.jp/ jf-soumu@japanfarm.co.jp
代表者	松長 哲朗		
所在地	〒899-7303 鹿児島県曾於郡 大崎町益丸651		

私たちの得意なこと! できること!

種鶏から出荷まで一貫

具体的につくれるもの

- ・すべてを自社の下において品質・衛生・防疫・生産計画を一括管理
- ・衛生的な環境の下で高品質な雛を供給
- ・徹底した防疫管理体制で健康な鶏を育成
- ・独自の衛生基準に基づく安全・安心なチキンの提供

それはこの技術があるから

畜産インテグレーション

チキン事業は1969年設立当時より大規模な畜産経営を目指し、「畜産インテグレーション(統合)」を大隅半島で実現。この方式は「ジャパンファーム方式」と呼ばれ先駆的なモデルとなりました。



私たちはこんな技術を持っています

養豚事業では地元酒造会社より発生する焼酎粕を利用し、「リキッドフィーディングシステム(液体給餌)」を導入。2008年には県商工会議所主催の経済産業賞「エコロジー賞」を受賞しました。また、事業活動に伴い発生する畜糞を肥料化し販売すると共に、鶏糞の一部をバイオマスエネルギーとして工場で熱利用しています。



私たちがこれから展開を目指すこと

主要製品の鶏肉および肉豚の生産においては、一層の生産性改善とコスト削減を目指し競争力を強化するとともに、さらなる安全・安心の追求を行っていきます。また生産業務における環境負荷低減の一環として、バイオマス利用の推進と併せて、炭酸ガス排出抑制活動を強化していきます。



工業技術センターからこんな技術支援を受けました

☑技術相談・指導

養豚場からは比較的高濃度のアンモニアを含んだ汚水が排水処理施設に流入してきます。排水処理施設では循環脱窒法という処理法で、微生物の力を借りてアンモニアを無害な窒素に分解・除去していますが、養豚排水の窒素除去に関する技術指導により、特に脱窒処理が安定的に行えるようになりました。



未来の食生活を見つめて

代表取締役
松長哲朗さん



人に健康で地球に健康な企業でありたい

自然と共存できる循環システムを企業活動に取り入れ、畜産(農業)という循環性の高い活動を通じ、より安全でより高品質な畜肉をお届けしたい。これが私たちの理念です。